

Chiba Weekly Report

2022

— 第 25 週 — 2022/6/20~2022/6/26

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

細菌性赤痢、手足口病



全数報告疾患集計表 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第25週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	25週	24週	23週	22週	21週
小児科	小児科定点医療機関数			129	128	130	131	130
	RSウイルス感染症		柏市(1.2)	0.34 44	0.40 51	0.18 23	0.08 10	0.07 9
	咽頭結膜熱		長生(1.8)、柏市(1.2)	0.30 39	0.27 35	0.23 30	0.22 29	0.23 30
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		船橋市(1.7)、長生(1.0)	0.32 41	0.18 23	0.48 62	0.21 28	0.18 24
	感染性胃腸炎		印旛(11.4)、海匝(10.7)、 市原(8.4)	5.80 748	6.13 784	5.31 690	5.36 702	4.97 646
	水痘			0.07 9	0.05 6	0.15 20	0.07 9	0.11 14
	手足口病		柏市(5.2)【警報】 船橋市(3.8)、香取(3.3)	1.84 237	0.93 119	0.62 80	0.32 42	0.16 21
	伝染性紅斑			0.01 1	0.01 1	0.01 1	0.02 2	0.00 0
	突発性発しん			0.35 45	0.45 57	0.38 50	0.41 54	0.42 55
	ヘルパンギーナ		印旛(1.4)、船橋市(1.0)	0.42 54	0.20 26	0.20 26	0.05 6	0.05 7
	流行性耳下腺炎			0.05 7	0.05 6	0.05 6	0.08 10	0.04 5
	インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			208	207	209	210
インフルエンザ				0.00 0	0.00 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
眼科	眼科定点医療機関数			32	33	33	33	33
	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.06 2	0.00 0	0.03 1	0.00 0
	流行性角結膜炎		船橋市(1.0)	0.25 8	0.15 5	0.12 4	0.24 8	0.15 5
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎		5歳未満1例	0.11 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	無菌性髄膜炎		50代1例	0.11 1	0.11 1	0.11 1	0.00 0	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
全数	風しん			0	0	0	0	0
	麻しん			0	0	0	0	0

備考

増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

【今週の注目疾患】

《細菌性赤痢》

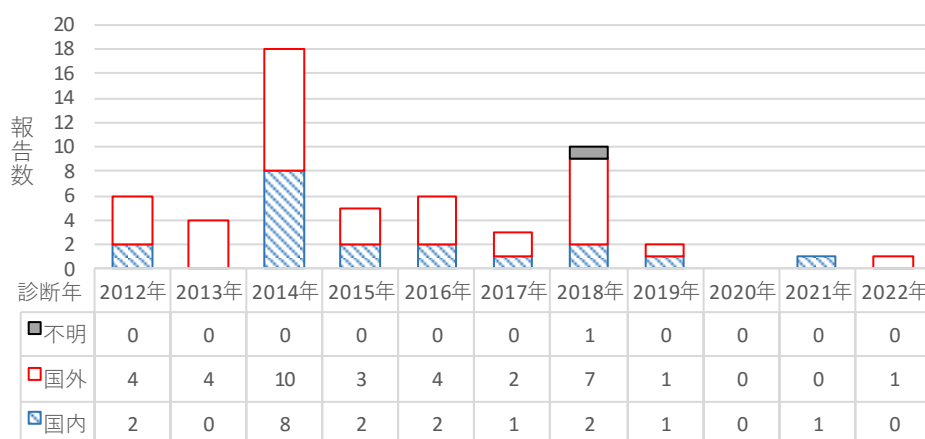
2022年第25週に県内医療機関から細菌性赤痢が1例報告された。原因病原菌は *Shigella sonnei* であった。海外渡航歴があり、推定される感染経路は魚介類の生食であった。渡航歴がある症例の報告は2019年以来、3年ぶりとなる。

2012年から2022年第25週までに県内医療機関から細菌性赤痢の報告が56例あった。性別では女性34例（61%）、男性22例（39%）で女性が多い。類型別では患者が52例（93%）、無症状病原体保有者が4例（7%）であった。年代別では20代が17例（30%）と最も多く、次いで30代が14例（25%）であり、20~30代が半数以上を占めた。

推定される感染地域は、国外が36例（64%）、国内が19例（34%）、不明が1例（2%）であり、半数以上が国外であった（図1）。

推定される感染経路^{*}は、経口感染（飲食物）が33例（59%）、接触感染（人）が5例（9%）、性的接触が1例（2%）、不明が18例（32%）であった。感染原因と推定された飲食物は、国外での野菜や果物、魚介類などの生食、水、氷などがあげられていた。接触感染では同居家族からの感染があげられていた。（※複数の推定感染経路が記載されている場合、重複計上している）

図1：2012年から2022年第25週までの
県内細菌性赤痢の推定感染地域（国内・国外）別報告数（n=56）



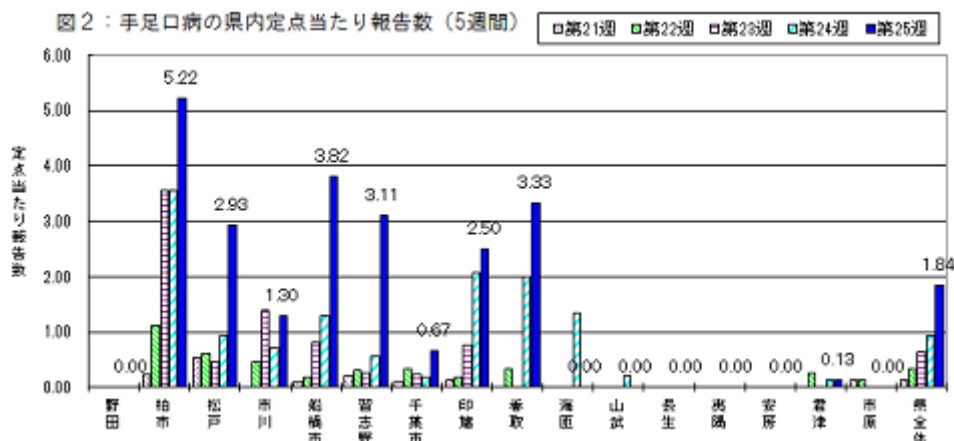
細菌性赤痢の原因菌は赤痢菌（*Shigella*）である。*Shigella* 属には4菌種（*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*）が含まれる。患者や無症状病原体保有者の糞便、それらに汚染された手指、食品、水、ハエ、器物を介して直接あるいは間接的に感染する。感染菌量は10~100個と極めて少なく、家族内での二次感染も多い¹⁾。

通常、潜伏期は1~3日間であり、全身の倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱、水様性下痢を呈する。発熱は1~2日続き、腹痛、しぶり腹（テネスマス）、濃粘血便などの赤痢症状を呈する。近年、重症例は少なく、数回の下痢や軽度の発熱で経過する事例が多い。通常、*S. dysenteriae*や*S. flexneri*は典型的な症状を起こすことが多いが、*S. sonnei*の場合は軽度な下痢あるいは無症状に経過することが多い¹⁾。

予防の基本は、輸入例が半数以上を占めることから、細菌性赤痢の汚染が考えられる地域では非加熱食品、生水、氷などを摂取しないことが重要である。また、接触感染を予防するため、手洗いの励行が重要となる¹⁾。

《手足口病》

2022年第25週に県内定点医療機関から報告された手足口病の定点当たり報告数は、20週から6週連続で増加し、1.84（人）であった。第25週に報告された患者について、年齢は1歳が最も多く（36%）、次いで2歳（34%）、3歳（10%）であった。発生報告が多かった地域は、柏市5.22（人）、船橋市3.82（人）、香取3.33（人）保健所管内であった（図2）。柏市保健所管内は警報開始の基準値である5.0をこえており、今後の発生動向に注意が必要である。



手足口病は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症である。コクサッキーA16（CA16）、コクサッキーA6（CA6）、エンテロウイルス71（EV71）などのウイルスが原因ウイルスとなる。基本的に予後良好な疾患であるが、急性髄膜炎の合併が見られ、稀ではあるが急性脳炎を生ずることもあり、なかでもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスよりも高いことが知られている²⁾。

感染経路は主に飛沫感染で起こるが、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染などがあり得る。便中へのウイルスの排泄は長期間にわたり、症状が消失した患者も2~4週間にわたり感染源になり得る。予防としては、接触予防策、飛沫予防策が重要である。手洗いの励行は重要であり、特に排便後・排泄物の処理後の流水と石けんによる手洗いを徹底する²⁾。

■参考

1) 国立感染症研究所：細菌性赤痢とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/406-dysentery-intro.html>

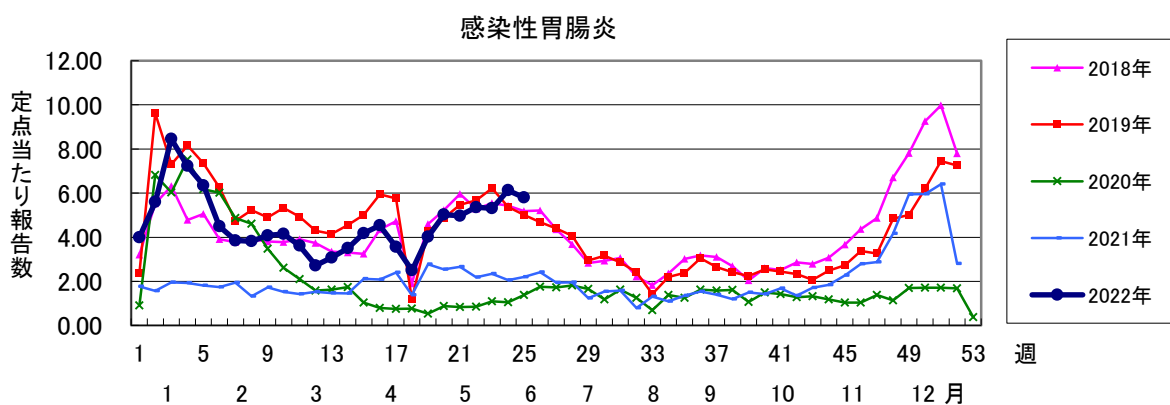
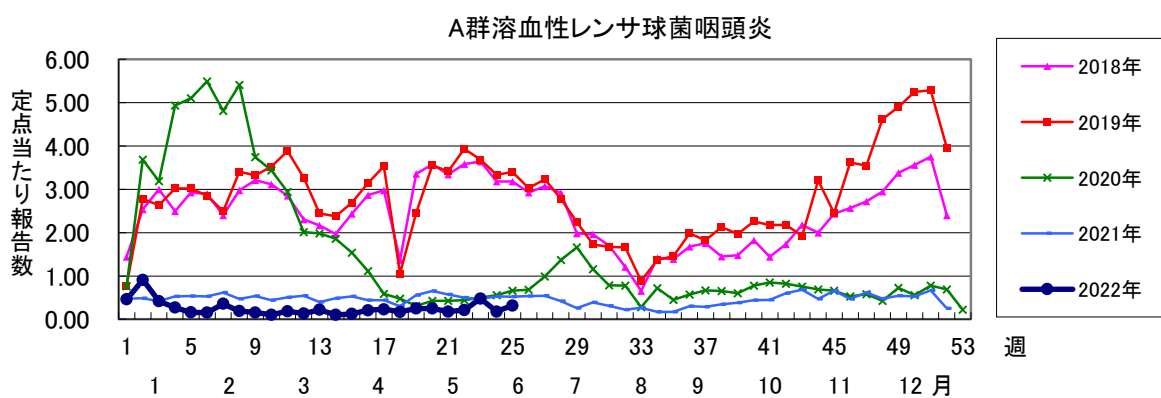
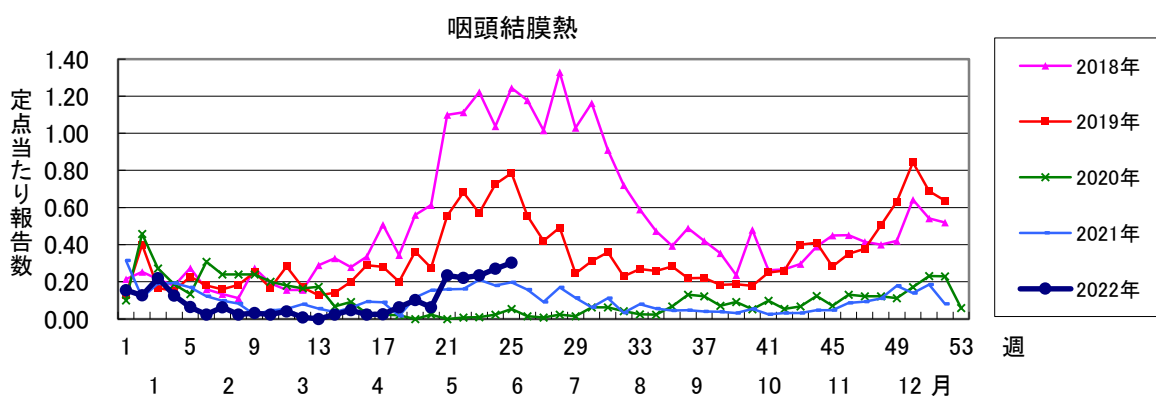
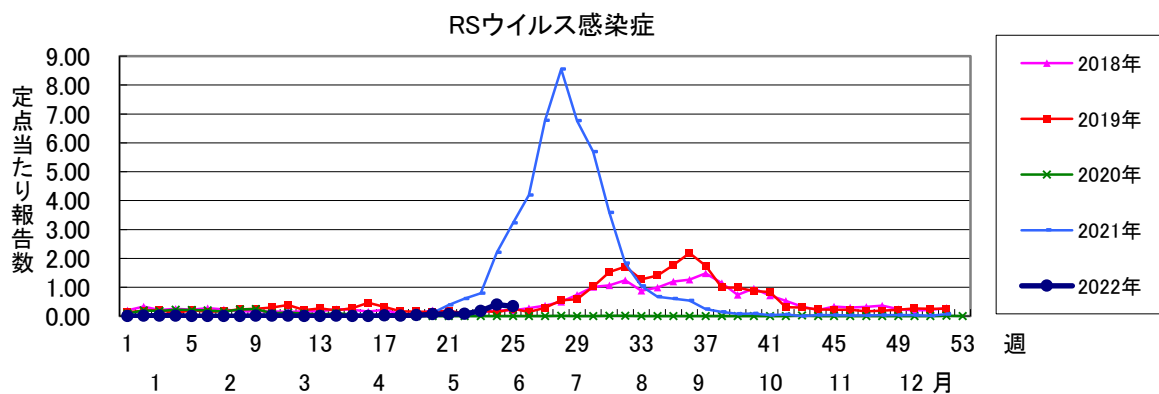
2) 国立感染症研究所：手足口病とは

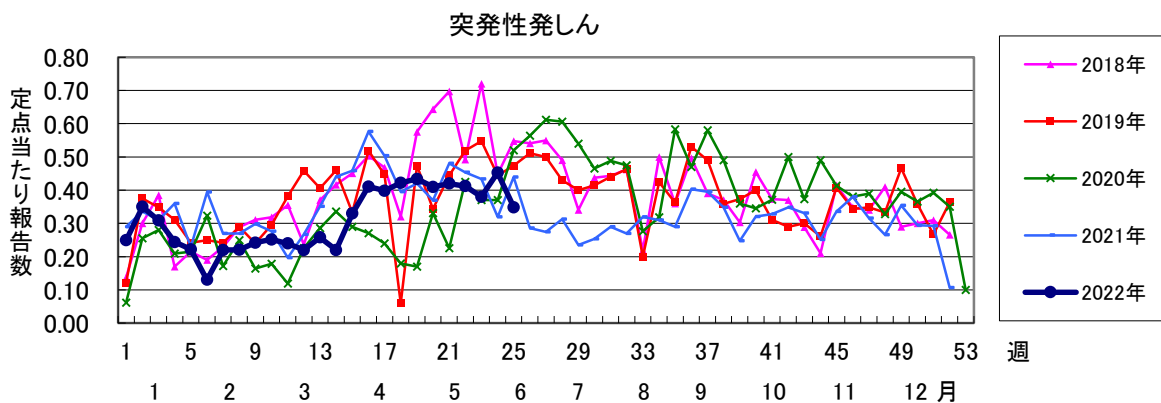
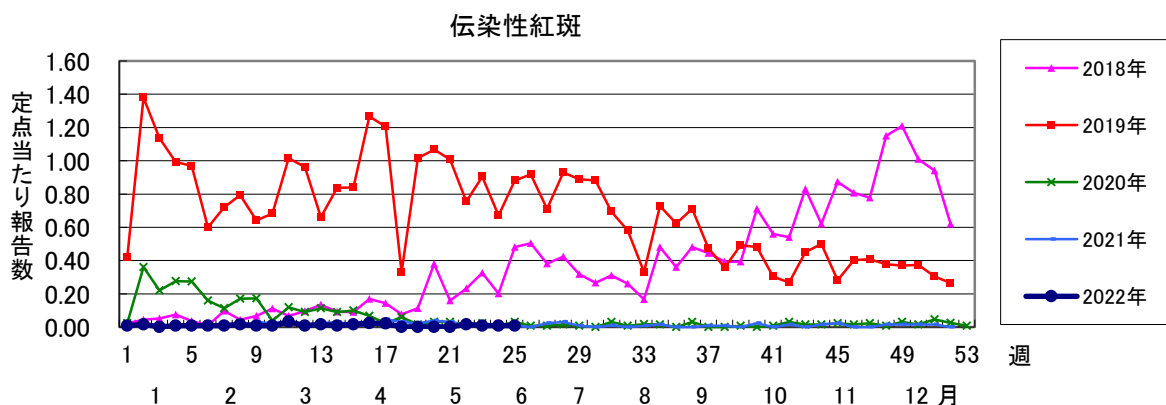
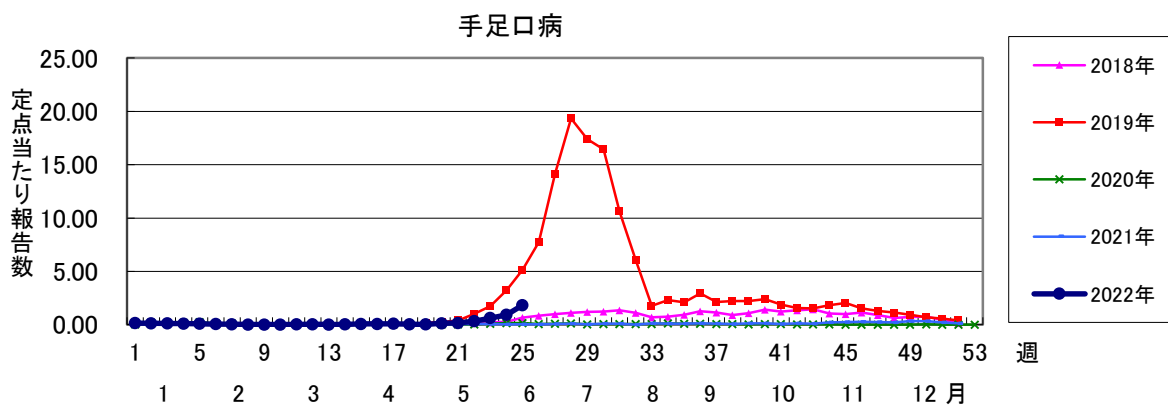
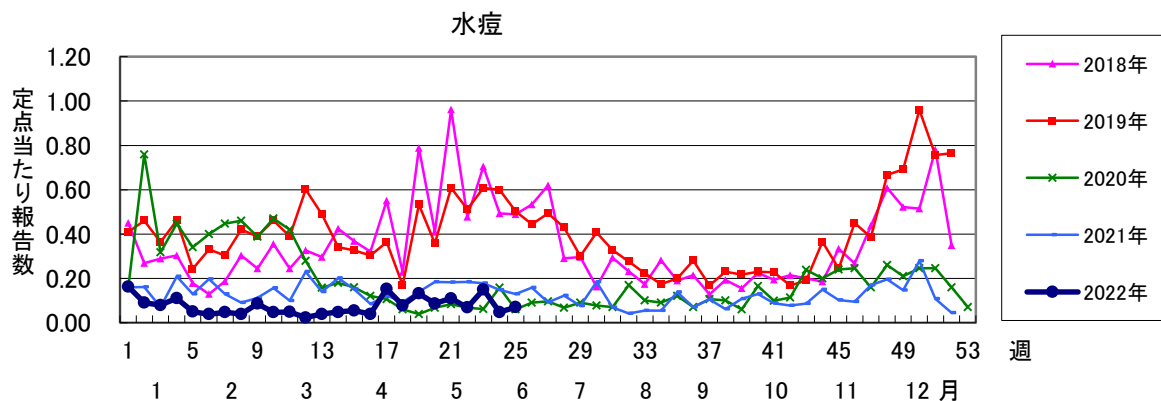
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/441-hfmd.html>

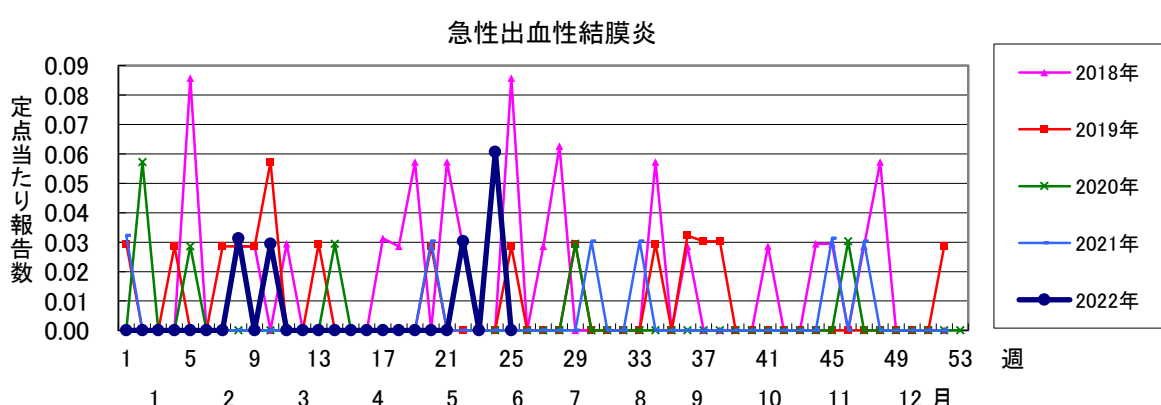
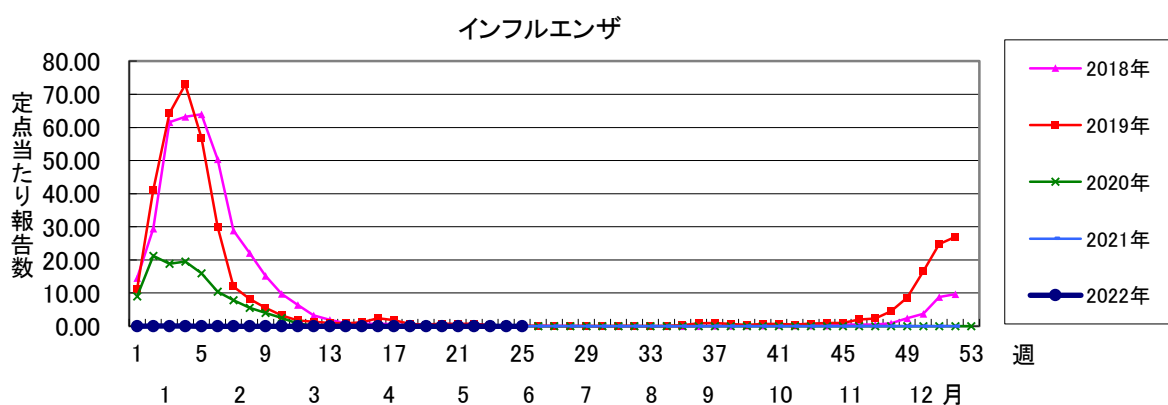
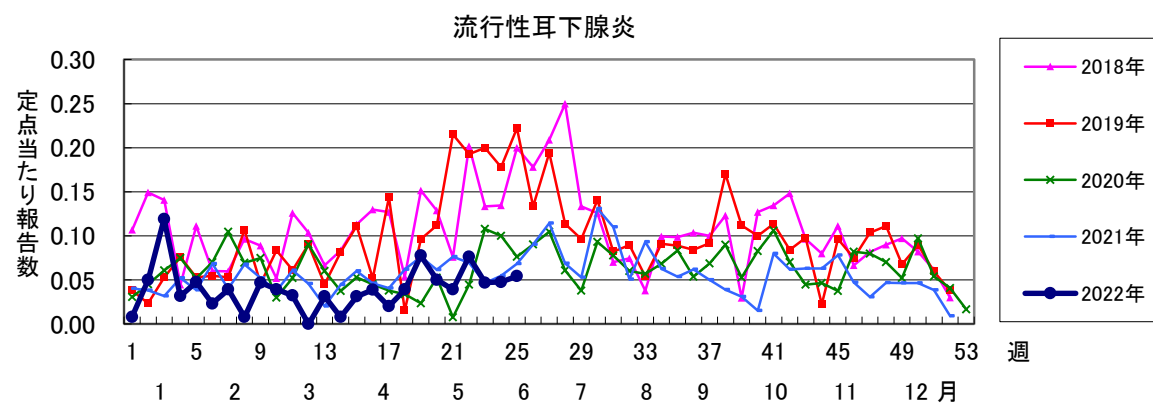
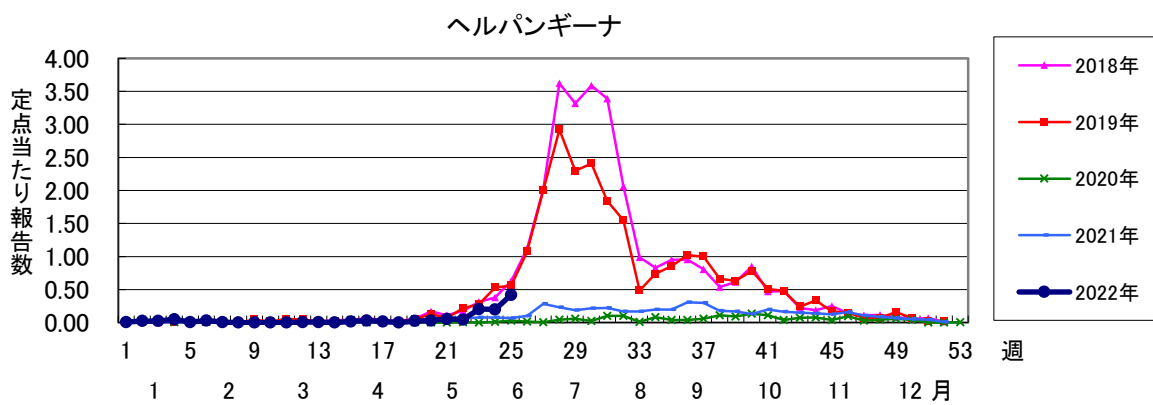
第25週全数報告疾患集計表

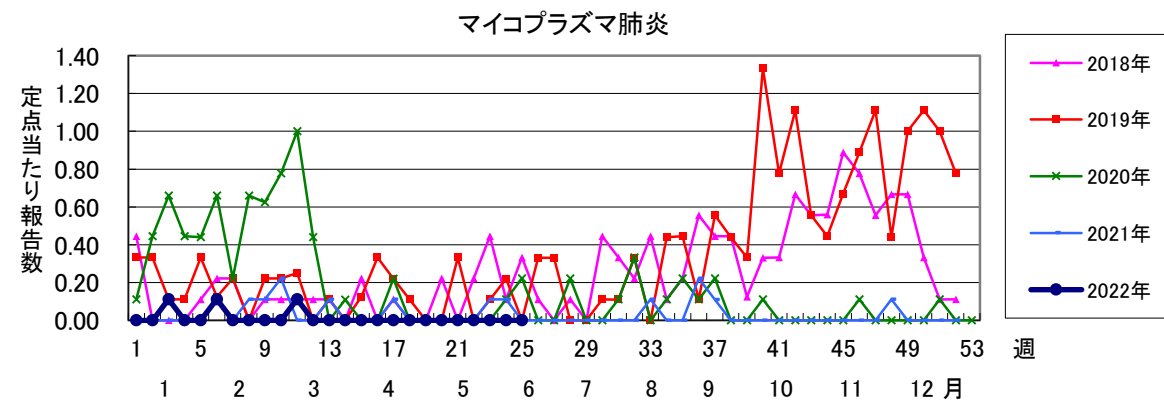
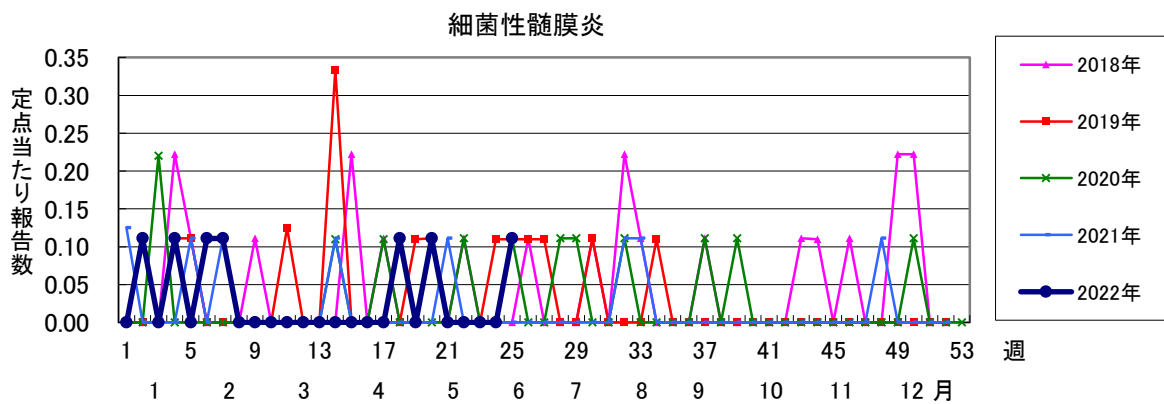
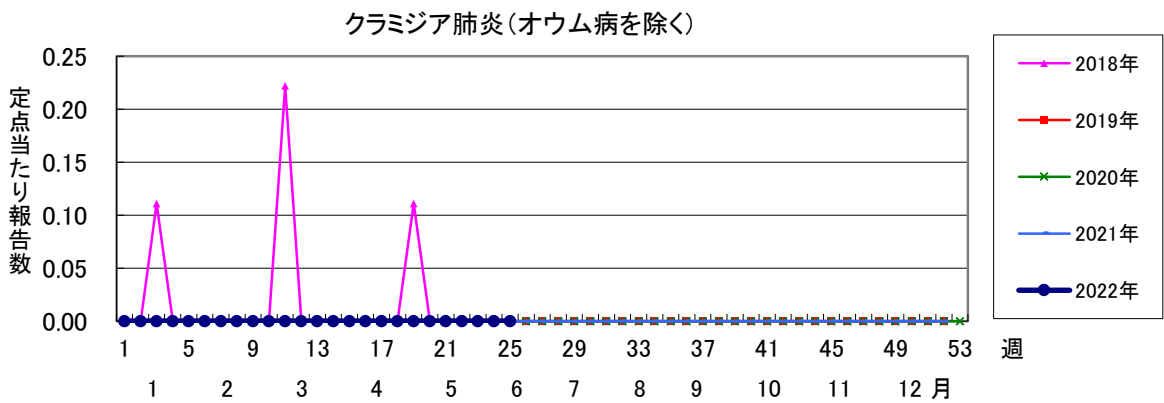
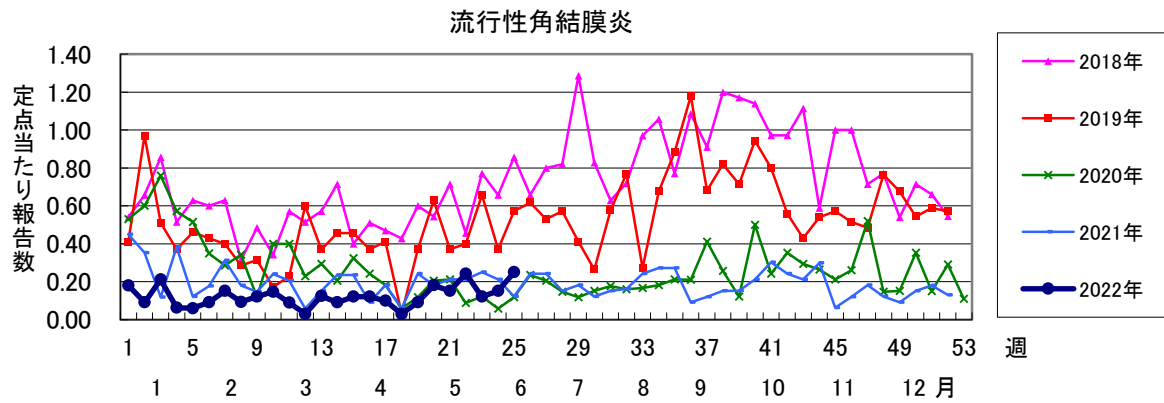
一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	1	4
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ベスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ペネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ボツリヌス症	0	0
			マラリア	0	2
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	0	30
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	0	7
結核	21	375	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	6
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	21
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	2	17
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	12
			後天性免疫不全症候群	1	11
			ジアルジア症	0	0
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	1	25
			水痘(入院例)	0	5
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	4	132
			播種性クリプトコックス症	0	3
			破傷風	0	1
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	6
			百日咳	2	6
			風しん	0	0
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	1	1	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	2	36			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計	
E型肝炎	3	26	新型コロナウイルス感染症*	462,458	
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	1	2			
エキノкокクス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサヌル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	0			
ジカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	0	4			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			

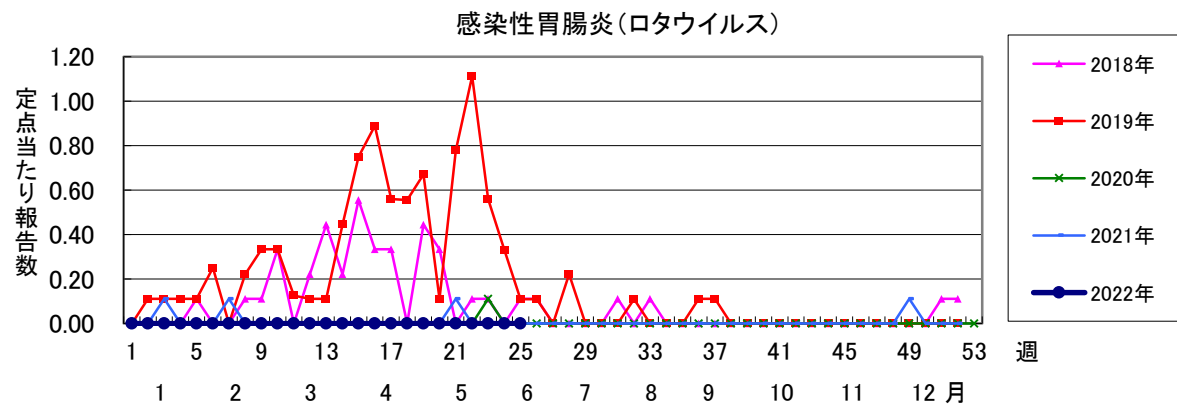
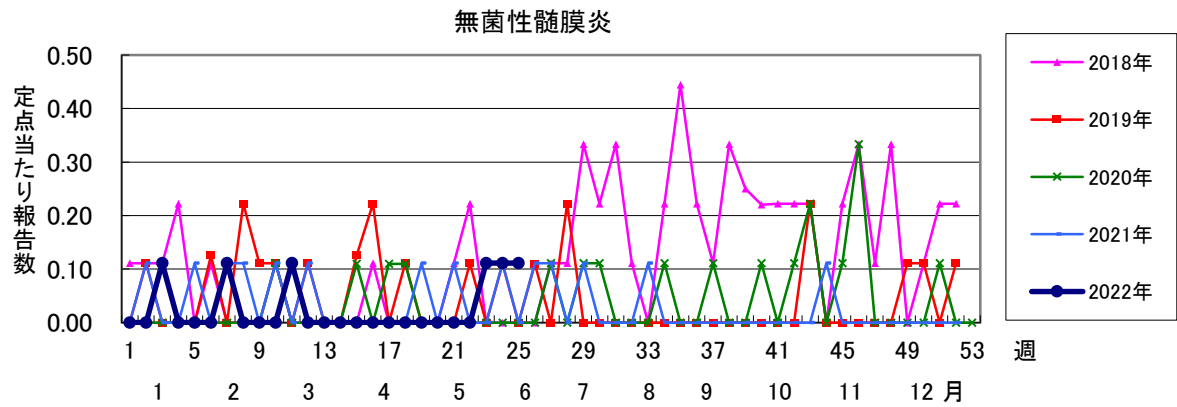
*千葉県報道発表による(6月28日13時現在)











2022年 第25週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.1

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
小児科定点数		4	9	15	10	11	9	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129	
RSウイルス感染症	～5ヶ月		2					1										3	
	～11ヶ月		1					2	1									4	
	1歳		2	4		2		2			1							11	
	2歳		3			3	3	4				2					1	16	
	3歳		1	2				1				1					1	6	
	4歳		1			1	1											3	
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳		1																1
	10～14歳																		
	15～19歳																		
20歳以上																			
合計		11	6		6	4	10	1		1	3					2	44		
咽頭結膜熱	～5ヶ月																	5	
	～11ヶ月			1	1		1	1					1					14	
	1歳		7			1	2	1	1				2					9	
	2歳		2			1	3		1				2					3	
	3歳						1						2					2	
	4歳					2												3	
	5歳					1		1	1									3	
	6歳										1							1	
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
20歳以上		2																2	
合計		11	1	1	5	7	3	3		1	7						39		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	～5ヶ月																	1	
	～11ヶ月						1											6	
	1歳			1		2	1	2										4	
	2歳				1	1			1				1					1	
	3歳					2		2					1					5	
	4歳					1						1						2	
	5歳					3		1					1					6	
	6歳					4												4	
	7歳					3												3	
	8歳					2		2	1									6	
	9歳									1	1							3	
	10～14歳	1				2		2	1									6	
	15～19歳									1	1			1				3	
20歳以上																	4		
合計	1	2	1	19	2	6	4	1		1	4						41		
感染性胃腸炎	～5ヶ月							1										1	
	～11ヶ月		2	6	5	3		14	9		2					1	8	50	
	1歳	2	11	15	15	10	3	28	51		3	2	2			5	6	153	
	2歳	2	12	11	7	10		24	34		7	4	1			3	6	121	
	3歳		7	11	3	14	8	16	19	1	7	3	1			6	11	107	
	4歳	1		5	3	15	4	15	16	1	4	3	2			4	7	80	
	5歳		2	5	1	17	3	11	11	1	6					2	3	62	
	6歳			3		9		3	4			1					2	22	
	7歳			2		2	1	1	10		1	1					3	21	
	8歳		2			3		1	7	1	1		1					16	
	9歳		1	1		2	2	2	6	2	1	2						19	
	10～14歳	1	5	4	1	6	1	7	11			3				2	6	47	
	15～19歳	1			1				1	1				2		1		7	
20歳以上	1	6	3	2	1	2	1	3	4		7	4			1	7	42		
合計	8	48	66	38	92	24	124	182	11	32	26	13			25	59	748		

2022年 第25週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.2

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数		4	9	15	10	11	9	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳																1	1
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳								1									1
	6歳								2									2
	7歳																	
	8歳							1										1
	9歳																	
10～14歳		2			1			1										4
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		2			1	1	1	1	3								1	9
手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月			1				1										2
	1歳		8	2		3	1		5									19
	2歳		19	14	7	15	11	4	15									85
	3歳		12	18	3	17	9	4	12	5								80
	4歳		4	4	1	4	3	1	4	3								24
	5歳		4	4		1	1	1	1	2								14
	6歳			1		1	1	1	1						1			6
	7歳					1												1
	8歳							2		1								3
	9歳																	
10～14歳									1									1
15～19歳																		
20歳以上				2														2
合計		47	44	13	42	28	12	40	10						1			237
伝染性紅斑	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳								1									1
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計								1										1
突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月	1	1		4		1				1	1					1	10
	1歳		2	4	1	1	2	4	3			1	1			2	2	23
	2歳			2			1	1	1	1	1							7
	3歳							1		1								2
	4歳							1	1									2
	5歳			1														1
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計	1	3	7	5	1	4	7	5	2	2	2	2	1		2	3		45

2022年 第25週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.3

		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計	
小児科定点数		4	9	15	10	11	9	18	16	3	3	5	4	3	4	8	7	129	
ヘルパンギーナ	～5ヶ月			1														1	
	～11ヶ月				1	1	2	1	2									7	
	1歳			2	1	4	1		5			1						14	
	2歳		1			3	2		5									11	
	3歳		1		2	3			6									12	
	4歳				1				2									3	
	5歳			2														2	
	6歳		1						1									2	
	7歳																		
	8歳									1									1
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
20歳以上							1											1	
合計			3	5	5	11	6	1	22			1						54	
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																		
	～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳			1					1									2	
	4歳								1									1	
	5歳					1			1									2	
	6歳																		
	7歳																		
	8歳				1														1
9歳									1									1	
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
合計				1	1	1		3	1									7	

2022年 第25週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
インフル定点数		7	14	24	16	17	15	28	24	6	6	8	7	5	7	13	11	208
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20～29歳																	
	30～39歳																	
40～49歳																		
50～59歳																		
60～69歳																		
70～79歳																		
80歳以上																		
合計																		
眼科 定点数		1	2	5	1	3	2	5	4	1	1	1	1		1	2	2	32
急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20～29歳																	
	30～39歳																	
40～49歳																		
50～59歳																		
60～69歳																		
70歳以上																		
合計																		
流行性 角結 膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
10～14歳																		
15～19歳																		
20～29歳																		
30～39歳																		
40～49歳																		
50～59歳																		
60～69歳																		
70歳以上																		
合計																		

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022年 第25週

発行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。